

キーンランドカップ

本命はトウシンマカオ。

父がビッグアーサー。

欧州指向のスプリント戦がベストの種牡馬。キャリアを重ねて上昇する特性も。

キャリアを重ねて欧州指向の札幌芝 1200m への参戦は狙い頃。

母父はサンデー系のスペシャルウィーク。

当レースは欧州型とサンデー系で父と母父が構成されている

配合馬も期待値が高いレース。

2020 年 9 番人気 3 着のディメンション。

2018 年 9 番人気 3 着のペイシャフェリシタ。

2017 年 12 番人気 1 着エポワス。

2015 年 8 番人気 1 着ウキヨノカゼは

父と母父が欧州型とサンデー系で配合されていた馬。

このパターンの配合馬が走りやすいのは

欧州指向の馬力とマイル指向の伸びが要求されるため。

相手妙味は同じく欧州指向のスプリント G1 実績種牡馬の

モーリス、カナロア産駒に期待。

シゲルピンクルビーは休み明け好走後に反動が出るモーリスで

前走からの巻き返しが見込めます。

レイハリアはトウシンマカオと同じ欧州型×サンデー系で 8 枠。

新潟2歳ステークス

加速力、スプリント指向に優れたノーザンダンサー系に相性の良いレース。

本命はアイスグリーン。

父モーリスはダンチヒ系が走りやすいレースに強い種牡馬。
特に母系から気の強さを強化された配合馬は短距離適性と短縮適性が上がります。

近親に2歳芝マイル重賞をレコード勝ちしたシェーンヴァルト。
祖母のシェークライトも2歳戦の1200mを連勝した気の強い馬。

ロードディフィートは父ダンチヒ系。

母父ダイワメジャー。

どちらも当レースで結果を出している血統。

前走1400mで上がり最速。

血統戦歴ともにベタに当レース傾向にハマる馬。